



職員から市民図書館の各コーナーについて説明を受ける受講生の皆さん

図書館を知り、図書館の業務を体験

市では、昨年度から図書館業務の体験を通して司書の知識や技術を学び、読書の素晴らしさを広め、「本と人の橋渡し」を手助けする読書活動推進の担い手となる「子ども司書」の養成を目的に小学4年から6年生を対象とした「子ども司書養成講座」を開催しています。昨年度は23人の子ども司書が誕生しました。今年度は11月1日から12月6日までの約1カ月、4回に

わたり開催され、市内の小学校から18人が参加しました。11月1日に行われた開講式で母良田篤夫教育部長は「友達や家族に読書の楽しさや大切さを伝える子ども司書になってほしい」と、激励しました。

受講生は、市民図書館や青森県立図書館で普段入ることができない場所を見学したほか、市民図書館児童室の受付カウンターに座り、本の貸し出しや返却の業務などを体験。毎回楽しみながら熱心に学んでいました。

平成26年度「子ども司書養成講座」

- ①11月1日(土)
 - ▶開講式
 - ▶市民図書館見学
 - ▶レファレンス(演習)～自分の誕生日にどんな出来事があったか調べてみよう～
 - ②11月8日(土)
 - ▶カウンター業務体験
 - ▶本のコーティング作業体験
 - ▶おすすめ本カード作成
 - ③11月15日(土)
 - ▶青森県立図書館見学
 - ④12月6日(土)
 - ▶おすすめ本の発表
 - ▶読み聞かせおはなし会
 - ▶閉講式
- 補講 — 11月9日(日)
- ▶製本教室

Pick Up!



▲受付カウンターで本の貸し出しや返却業務を体験



自分の誕生日にどんな出来事があったのか調査

▲自分のおすすめ本を発表

Pick Up

青森県立図書館を見学

県内最大、蔵書数103万冊

11月5日に行われた第3回目の講座では、青森県立図書館(青森市)を訪問。閉架書庫や一般・児童閲覧室、近代文学館などを見学するとともに、県立図書館が県民のために新聞や雑誌などの資料を収集し、保存していることや県内の市町村図書館・学校図書館へ協力していることなど、県立図書館の役割について学びました。



▲県民のために新聞を保存。大正時代の地方新聞もあります ▲背丈の倍もある高さの棚に納められた数々の本



▲図書館2階の「近代文学館」も見学 ▲電動で動く「電動集密書架」 ▲初めて見るマイクロフィルムに興味津々

地域や学校での読書活動のリーダーに

1カ月にわたり行われた子ども司書養成講座。施設を見学しながら図書館の役割を学び、図書館業務を実際に体験しました。

本が大好きな受講生の皆さん、暇を見つけては本を開き、熱心に読む姿が見られるなど、日頃から本に親しんでいる様子がうかがわれました。市では、平成22年に毎月第4日曜日を「家庭読書の日」と制定し、家庭での読書、「家読」を促しています。その結果、15歳未満の市民図書館登録者数は平成22年度2千373人から平成25年度3千362人に増加。多くの児童らが図書館を利用しています。一方、各学校では、学校図書館の充実を図るとともに、朝読書や一斉読書に取り組みます。また、学校の枠を超え、北園小学校と南小学校では2校一緒に「親子読書会」を開催。両校の児童や親が会場に集まり、絵本の読み聞かせなどを行うなど、地域一体となって読書を推進しています。



▲修了証を手にする受講生の皆さん。今回の講座で多くの子ども司書が誕生しました

新しくなった図書館には、読書への環境整備はもとより、より一層、本に親しむ機会の提供と充実が求められます。そして、読書活動を推進するためには、図書館、学校、ボランティア団体などの連携・協力が不可欠となります。閉講式で米田省三教育長は受講生に対し、「講座で学んだことをほかの児童に伝え、みんなが本を好きになるように、リーダーとして図書好きの友達をたくさん作ってほしい」と、伝えました。受講生には、講座で学び、体験した「読書の楽しさ・素晴らしさ」を学校や地域に広めるリーダーとしての役割が期待されます。

Voice

みなと一緒に見学した青森県立図書館が1番の思い出です。市民図書館よりも大きく、たくさんの本や雑誌があり、とても驚きました。県立図書館では火災のとき、部屋を真空状態にして火災を予防する設備があり、本を大切にしていることが分かりました。ほかにも児童室などを見学し、いろいろなことを楽しく学んだ1日でした。この講座で学んだたくさんを普段の生活に生かしていきたいです。

中井 晴斗くん (南小・6年)

カウンターの仕事や本のコーティング、青森県立図書館の見学などどれも楽しく、勉強になりました。県立図書館には市民図書館にない設備や本がたくさんありました。特に電動集密書架はスペースをあまり使わず、安全性も高い設備でした。市民図書館は親しみやすく、誰でも気軽に本を借りることができます。これからはもっと本を読む時間を増やして、たくさんの本を読んでいきたいです。

小山田 知広さん (南小・6年)



小山田 知広さん (南小・6年)